

| 教科名 | 家庭 | | 科目名 | 家庭基礎 |
|--|--|--|---|------|
| 科目の目標 | 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実・向上を図る能力と実践的な態度を育てる。 | | | |
| 履修学年 | 3学年 | 学科・コース | 全学科 | |
| 単位数 | 1単位 | 授業形態 | 一斉授業（個別・班学習等） | |
| 教科書 | 新家庭基礎（大修館書店） | | 副教材等 | |
| 1 学習の目標 | | | | |
| <p>(1) 人の一生を生涯発達の観点でとらえ、家族・家庭の意義や社会とのかかわりについて理解させ、男女が相互に協力して家庭を築く事の重要性について認識させる。</p> <p>(2) 高齢者の心身の特徴と生活・福祉について理解させ、自立生活を支えるために家族や地域及び社会の果たす役割について認識させる。</p> <p>(3) 子どもの発達と保育、子どもの福祉などについて理解させるとともに、子どもの健全な発達を支える親や社会の果たす役割と保育の重要性について認識させ、保育への関心を持つことができるようにする。</p> <p>(4) 消費者の権利と責任について理解させ、現代の消費生活の課題について認識し、消費者として資源や環境に配慮した責任ある行動ができるようにする。</p> <p>(5) 実験・実習やホームプロジェクト学習を通して生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画的に実践することができるようにする。</p> | | | | |
| 2 学習内容と進め方 | | | | |
| 3学年では「家族」「高齢者」「子ども」「消費生活」の4分野について学習します。 | | | | |
| <p>(1) 学習を生活のあらゆる場面と結びつけ、家庭の充実向上を目指して取り組む態度と意欲を身につけます。</p> <p>(2) 生活に関する基本的な知識・技術を身につけます。</p> <p>(3) 資料やプリントを使用することにより、学習の定着をはかります。</p> | | | | |
| 3 学習の留意点 | | | | |
| <p>(1) 学習した内容を実際の生活に置き換え、問題点を見つけよりよい生活にしようとするのが大切です。</p> <p>(2) 実習中は安全面に注意し、能率的に作業を進めてください。</p> <p>(3) 家庭生活と社会の関わりを理解するために、新聞やニュースに関心を持つのが大切です。</p> | | | | |
| 4 評価の方法 | | | | |
| <p>(1) 評価の観点</p> <p>① 家庭や地域の生活についての関心、学習に対する意欲的な取り組み、実践的な態度が身に付いたか。</p> <p>② 生活課題を認識し、主体的に解決するために考え、工夫し創造する力が身に付いたか。</p> <p>③ 生活を営むために必要な基礎的・基本的な技術を習得し、成果を的確に表現する力が身に付いたか。</p> <p>④ 家庭生活に関する基礎的・基本的な知識が総合的に身に付いたか。</p> <p>(2) 次のような方法で皆さんの学習を評価します</p> <p>・ 定期考査 ・ 各種提出物の状況 ・ 授業の取り組み ・ 自己評価等</p> <p>※提出物が不完全な場合は、定期考査の結果に関わらず評価の対象になりません。</p> | | | | |
| 5 授業計画 | | | | |
| 【関】は「関心・意欲・態度」、【思】は「思考・判断・表現」、【技】は「技能」、【知】は「知識・理解」 | | | | |
| 月 | 単元 | 学習内容 | 評価の観点 | 考査等 |
| 4 | ・オリエンテーション 第2章 家族・家庭と社会 について考えよう 現代の家族・家庭 | ・家庭基礎の学習内容を理解する。 | <p>【関】</p> <p>・個人のライフスタイルのあり方や家族、パートナーシップに関する問題、それをとりまく社会制度に関心をもち、その充実・向上をめぐる問題に意欲的に取り組もうとする。</p> <p>【思】</p> <p>・現在または将来直面する問題を、家族や社会のあり方の変化、男女共同参画社会など社会課題のなかでとらえ、発表することができる。</p> <p>【技】</p> <p>・多様性の尊重等も理解した上で、将来の生活を想定した生活設計ができる。</p> <p>【知】</p> <p>・多様な生き方を理解し、現代の家族をめぐる問題や家族法等について基礎的、基本的知識を身につけている。</p> | |
| 5 | 家族・家庭に関する法律 家族・家庭と社会 | <p>・ライフスタイル、ライフステージの特徴と課題について理解する。</p> <p>・男女の平等と多様な人々との共生を理解する。</p> <p>・法律や個人、家庭を支える社会システムの重要性を学ぶ。</p> <p>・職業や家事労働について理解し、現状と課題について考える。</p> | | |

| | | | | | |
|----|--|--|--|--|------------------------------------|
| 6 | 第4章 高齢者の生活と福祉について考えよう | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の特徴と生活を理解する。 | 【関】 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢期や貧困、障害についての問題、福祉制度について関心を持ち、知識の習得に意欲的に取り組もうとする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・1学期期末 考査 | |
| 7 | 高齢期という時期 高齢期の生活を支える高齢者福祉 高齢社会の現状と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の自立生活を支えるための社会の果たす役割を学ぶ。 ・個人や家族の生活を支える福祉や社会的支援について理解する。 | 【思】 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢期の問題について自らが将来直面することとして、生活や福祉の問題を考え、表現することができる。 | | |
| 8 | 第5章 共生社会をつくらう | <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の生活課題と社会的セーフティネットの仕組みについて学ぶ。 | 【技】 <ul style="list-style-type: none"> ・課題と福祉の現状などについて問題点を把握することができる。 【知】 <ul style="list-style-type: none"> ・ノーマライゼーションなどの基本的概念を理解し、それらについての基礎的、基本的な知識を身につけている。 | | |
| 9 | 第3章 子どもと子育てについて知ろう | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活や発達について、知識を得る。 | 【関】 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもや子育てに関心を持ち、健やかな成長についてどうしたらよいかを意欲的に考えようとする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・V T R 視聴 | |
| 10 | 子どもの誕生 子どもの成長・発達 子どもの生活と保育 子育てへの社会的支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・家族および地域や社会の果たす役割について理解する。 ・環境および子育ての課題について探る。 | 【思】 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもに関わる問題について取り巻く環境の変化と関連させて考え、表現することができる。 【技】 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの食事や衣服の特徴を考察する。 【知】 <ul style="list-style-type: none"> ・親の保育責任について理解している。 | | |
| 11 | 第6章 経済生活を設計しよう | <ul style="list-style-type: none"> ・消費者としての自覚と経済的な自立の必要性について理解する。 | 【関】 <ul style="list-style-type: none"> ・消費者情報に関心を持ち、社会的影響や環境への負荷等に配慮しながら、主体的で責任ある消費行動を取ろうとする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・2学期期末 考査 | |
| 12 | 現代の消費生活 消費者問題の現状と課題 消費者の権利と責任 | <ul style="list-style-type: none"> ・消費経済の仕組みについて理解する。 | 【思】 <ul style="list-style-type: none"> ・問題点や家計管理のポイントを社会と環境との関わりも含め、管理計画を立てることができる。 | | |
| 1 | 家庭の経済生活 | <ul style="list-style-type: none"> ・消費者の権利と責任について理解する。 ・今後の消費生活について理解する。 | 【技】 <ul style="list-style-type: none"> ・トラブルに直面した場合、社会的な手段も利用しながら、解決する方法を身につけている。 【知】 <ul style="list-style-type: none"> ・消費者の権利と役割、環境との関わり等について理解し、消費者政策と家計の構造等について基礎的・基本的な知識を身につけている。 | | |
| | | | | この単元を 自己評価してみよう A B C | この単元を 自己評価してみよう A B C |